

日出町告示第57号

平成23年第3回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成23年8月25日

日出町長 工藤 義見

- 1 期 日 平成23年9月1日
- 2 場 所 日出町議会議事堂

開会日に応招した議員

池田 淳子君	藤井 博幸君
工藤 健次君	安部 三郎君
田原 忠一君	森 昭人君
後藤 佑君	白水 昭義君
佐野 故雄君	佐藤 隆信君
熊谷 健作君	佐藤 二郎君
佐藤 克幸君	笠置 久夫君
城 美津夫君	

9月3日に応招した議員

9月4日に応招した議員

9月26日に応招した議員

応招しなかった議員

なし

平成23年 第3回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成23年9月1日(木曜日)

議事日程(第1号)

平成23年9月1日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 議案第49号 平成23年度日出町一般会計補正予算(第3号)について

日程第7 議案第50号 平成23年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第8 議案第51号 平成23年度日出町簡易水道特別会計補正予算(第1号)について

日程第9 議案第52号 平成23年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

日程第10 議案第53号 平成23年度日出町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

日程第11 議案第54号 平成23年度日出町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

日程第12 議案第55号 平成23年度日出町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第13 議案第56号 平成23年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について

日程第14 議案第57号 日出町税条例等の一部改正について

日程第15 議案第58号 職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正について

日程第16 議案第59号 物品の購入について

日程第17 認定第1号 平成22年度日出町一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健

特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第18 認定第2号 平成22年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について

日程第19 報告第3号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について

日程第20 報告第4号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について

提案理由の説明

日程第21 発議第1号 決算特別委員会の設置について
散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 議案第49号 平成23年度日出町一般会計補正予算(第3号)について

日程第7 議案第50号 平成23年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第8 議案第51号 平成23年度日出町簡易水道特別会計補正予算(第1号)について

日程第9 議案第52号 平成23年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

日程第10 議案第53号 平成23年度日出町漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

日程第11 議案第54号 平成23年度日出町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

- 日程第12 議案第55号 平成23年度日出町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 日程第13 議案第56号 平成23年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について
- 日程第14 議案第57号 日出町税条例等の一部改正について
- 日程第15 議案第58号 職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正について
- 日程第16 議案第59号 物品の購入について
- 日程第17 認定第1号 平成22年度日出町一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第18 認定第2号 平成22年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について
- 日程第19 報告第3号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について
- 日程第20 報告第4号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について

提案理由の説明

- 日程第21 発議第1号 決算特別委員会の設置について
- 散会の宣告

出席議員(15名)

1番	池田 淳子君	2番	藤井 博幸君
3番	工藤 健次君	4番	安部 三郎君
5番	田原 忠一君	6番	森 昭人君
8番	後藤 佑君	9番	白水 昭義君
10番	佐野 故雄君	11番	佐藤 隆信君
12番	熊谷 健作君	13番	佐藤 二郎君
14番	佐藤 克幸君	15番	笠置 久夫君
16番	城 美津夫君		

欠席議員(なし)

欠 員 (1 名)

事務局出席職員職氏名

局長 名部 憲文君 係長 安田加津浩君

説明のため出席した者の職氏名

町長	工藤 義見君	副町長	堀田 義人君
教育長	石尾 潤治君	会計管理者	工藤都四男君
総務課長	木付 尚巳君	財政課長	高倉 伸介君
政策推進課長	越智 好君	税務課長	松木俊一郎君
住民課長	酒井 保彦君	福祉対策課長	合田 俊君
健康増進課長	河野 王見君	生活環境課長	小石 英介君
商工観光課長	工藤 要一君	農林水産課長	村井 栄一君
都市建設課長	川西 求一君	上下水道課長	小石 好孝君
農委事務局長	近藤 嘉登君	教育委員会教育総務課長 ...	小野裕一郎君
教育委員会学校教育課長 ...	清家 健志君	生涯学習課長	寺岡 達一君
代表監査委員	阿部 長夫君	監査事務局長	八坂 司君
総務課長補佐	河野 晋一君	財政課長補佐	脇 英訓君

午前10時03分開会

議長（城 美津夫君） 皆さん、おはようございます。平成23年第3回日出町議会定例会を開催するに当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

議員各位におかれましては、何かと御多用のところ御出席を賜り、まことに御苦勞に存じます。今期定例会には、平成23年度日出町一般会計補正予算などの議案11件、認定2件、報告2件が提出されています。議員各位には慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議事運営につきましても格別の御協力をお願いいたしまして、あいさつといたします。

開会、開議の宣告

議長（城 美津夫君） ただいま出席議員は15名です。定足数に達していますので、平成23年第3回日出町議会定例会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

議長（城 美津夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、2番、藤井博幸君、13番、佐藤二郎君を指名します。

日程第2．会期の決定

議長（城 美津夫君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、先日25日の議会運営委員会において、本日から9月26日までの26日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は本日から9月26日までの26日間に決定しました。

日程第3．諸般の報告

議長（城 美津夫君） 日程第3、諸般の報告を行います。

大分県町村議会議長会主催の研修会について報告します。

去る7月6日に行われました議員研修会は、共同通信社特別編集委員の西川孝純氏から大震災後の日本の政治と題して講演がありました。東日本大震災後の復興対策や原発事故対応を巡って、混迷する政治情勢について通信社の特別編集委員としての豊富な情報をもとに、現在の政局、後継者と目される人はだれかなど、詳しく説明をしていただきました。

タイムリーな議題でありましたが、当時の政治状況については不透明な部分が多く、政局がはっきりするまでには多くの時間が必要であり注視が必要と感じたところでございます。その後の政治状況につきましては、皆様御存じのとおりでございます。

研修会には全議員の出席をいただき、盛会裏に終了することができました。心からお礼申し上げます。

次に、平成23年第1回大分県後期高齢者医療広域連合議会臨時会の概要について、同広域連合議会副議長佐藤二郎君に報告をお願いします。13番、佐藤二郎君。

議員（13番 佐藤 二郎君） 平成23年大分県後期高齢者医療広域連合議会第1回臨時会が去る8月3日に大分県医師会館6階研修室において開催されましたので、その概要を御報告をさせていただきます。

今回の議会に上程されました議案は4件であります。各議案の概要をここで御報告申し上げます。

す。

はじめにお断りを申し上げます。各議案とも大分県後期高齢者医療広域連合の文言がっていますが、省略をさせていただきたいと思います。

はじめに、議案第8号副広域連合長の選任に関し議会の同意を求めることについては、浜田博氏、別府市長としての任期が4月29日をもって満了となったことを受け、今回再び提案をされたものであります。

次に、議案第9号監査委員の選任に関し議会の同意を求めることについては、大分市議会選出の河内正直議員の選出について提案されたものであります。

次に、議案第10号平成22年度特別会計補正予算(第4号)の専決処分の報告及び承認を求めることについては、歳入歳出の予算の総額にそれぞれ8億3,263万3千円を減額し、補正後の予算総額1,629億2,640万7千円となっております。

主な内容は、歳入では療養給付費等国庫負担金3億5,220万円の減額をはじめとして、国や県及び支払基金等にかかる療養給付費負担金の交付決定等が行われたことに伴い減額をしております。

歳出では、同様に実績に基づき療養給付費等の保険給付費を全体で24億3,929万2千円を減額しております。

次に、議案第11号平成23年度特別会計補正予算(第1号)については、24億3,551万9千円を増額し、補正後の予算総額を1,706億5,193万円となっております。

主な内容は、歳入では、市町村支出金には平成22年度繰越分に係る保険料負担金3,224万円を増額し、国庫支出金には特別収納対策事業市町村補助金にかかわる国庫補助金の内示を受けたことにより208万9千円を増額しております。

以上4件につきましては全員異議なく、同意、承認、可決をされました。

以上をもちまして、平成23年大分県後期高齢者医療広域連合議会第1回の臨時議会の報告とさせていただきます。

議長(城 美津夫君) 以上で諸般の報告を終わります。

日程第4．行政報告

議長(城 美津夫君) 日程第4、行政報告を行います。町長、工藤義見君。

町長(工藤 義見君) おはようございます。本日、平成23年第3回日出町議会定例会を開催するに当たりまして、御通知申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多忙のところ、御出席を賜り、御審議をいただきますことに対しまして、厚くお礼を申し上げたいと思います。

それでは、行政報告を申し上げます。

まず、藤原放課後児童クラブの開所式についてであります。以前より、藤原小学校の保護者から要望のありました放課後児童クラブの開所が4月23日に藤原小学校で開催されました。当日は、保護者や児童をはじめ地元の区長、老人クラブ、民生児童委員の代表、議会、行政の関係者など多くの方が出席されました。

放課後児童クラブは、仕事などで保護者が家庭にいない小学校低学年を中心に見守りをするもので、午後6時まで夏休みが始まる7月21日から、日曜日や祭日を除く月曜から土曜まで毎日児童を受け入れています。藤原小学校の余裕教室を放課後児童クラブの専用室として改修し、藤原小学校のPTA役員などを中心に藤原児童クラブ運営委員会を立ち上げていただき、日出町が運営委員会に委託して運営を行っています。児童が安心・安全に過ごせる地域の子育て支援施設として、地域の皆様の御理解と運営委員会への御協力をお願いいたします。

次に、糸ヶ浜ビーチフェスタについてであります。7月31日、県内外でも夏のイベントとして定着しております糸ヶ浜ビーチフェスタ2011を糸ヶ浜海浜公園内及び海水浴場において開催いたしました。開催当日は天候にも恵まれ、県内外から選手や家族連れを含め約1,500人の来場者のもと、各種目で熱戦が繰り広げられました。

恒例のビーチバレーボール大会には、福岡県内の12チームを含め42チームが参加、暑い日差しの中にもかかわらず果敢にボールに向かっていくレベルの高い熱戦が展開されました。

このほか、ビーチ水鉄砲大会や20メートル先に立てた旗をとる早さを競うビーチフラッグ大会、小学生を対象にしたミニドッジボール大会なども開催、海辺は終日水着姿の家族連れなどでにぎわい、事故、けが人等もなく、盛況のうちに終了いたしました。

当日をはじめ、準備段階から企画運営に御尽力を賜りました関係各団体や糸ヶ浜海水浴場の管理組合の皆様、厚くお礼を申し上げたいと思います。

次に、災害時応援協定についてであります。8月8日大分市の市町村会館においても国土交通省九州地方整備局と日出町が大規模災害時の応援に関する協定を締結いたしました。他の2町1村も同時に締結しました。

この協定は、災害対策基本法第77条に基づき、地震、津波等により社会的な影響が大きい大規模な災害が発生し、また発生する恐れがある場合に、市町村の実施する応急措置が的確かつ円滑に行われるようにするための応援に関する内容等を定め、被害の拡大や二次災害を防止することを目的としたものであります。

本協定では、大規模災害時における応援の内容、被災状況の連絡及び現地情報連絡員の派遣、応援の実施、応援要請の手続、応援要請の手続ができない場合の応援等について規定しております。本協定の締結により、災害時の支援を整備局へ要請する場合の方法等が明文化されますので、迅速な応援要請や緊急時対応が可能となる効果が期待されております。

次に、日出町ふるさと親善大使の委嘱式についてであります。8月16日、日出町大神出身で大手鉄鋼メーカー、神戸製鋼所の代表取締役社長として活躍されています佐藤廣士氏65歳、神戸市在住を日出町ふるさと親善大使に委嘱しました。

日出町ふるさと親善大使は、町外においていろいろな分野で活用されておられる町出身者にふるさとの魅力をPRしてもらおうと平成18年から始めたもので、今回で4人目となります。

佐藤廣士氏は、昭和20年日出町で生まれ、18歳まで日出町におられました。昭和45年に九州大学大学院修士課程を修了され、同年4月に神戸製鋼所に入所されました。鉄鋼やチタン、アルミニウムなどの幅広い製品の開発に携われ、技術開発本部長を経て平成16年4月に副社長、平成21年4月には社長となられ、事務系出身が続いたトップでは異色の工学博士であります。

世界レベルでの競争が激しくなっている中、組織力を高め世界首位の製品をふやすなど、経済産業会の第一線で活躍しておられます。同氏の今後ますますの御活躍をお祈りするとともに、いろんな機会を通じて日出町のPRもあわせてお願いするものであります。

次に、日出町総合計画後期基本計画についてであります。平成18年度に策定しました第4次日出町総合計画の前期基本計画の期間が平成22年度で終了し、前期5年間での進捗状況や社会情勢の変化などを踏まえ、改めて基本構想に描く町の姿を実現するための方策を見直し、後期基本計画をこのほど策定しました。

今回、特に東日本大震災での教訓を踏まえた地域防災計画の見直しを行い、町民と行政が一体となった備えを行っていかねばならないと考えています。また、町民の皆さんが主人公であることを認識し、子育て支援、健康づくり、教育の充実、良好な住環境の整備、市街地整備、歴史的町並み整備など、さまざまな分野で町民の皆様を「まちづくりのパートナー」として位置づけ、行政と手を取り合い力を合わせていきたいと考えております。

いざというときに、互いに支えあう地域力をいかに向上していくかも大きな課題です。少子高齢化の時代、希薄化しつつあると言われていています地域社会の再生と強化を進めてまいりたいと考えております。将来像の達成に向けて、引き続き各種施策の推進に努めてまいりますので、議員皆様方の御協力と御支援をよろしくお願いいたします。

次に、日出町生活交通ネットワーク計画策定のための調査委託についてであります。8月24日に日出町生活交通確保維持協議会を開催し、そこで日出町生活交通ネットワーク計画策定のための調査事業の委託先決定のため、指名型プロポーザル方式による提案の審査を行い、最優秀企画提案者を株式会社地域科学研究所に決定いたしました。

この協議会は、国の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」の規定に基づき、地域住民、交通事業者、国、県、町などの代表からなる委員により構成され、本年4月26日に設

置されております。

なお、この委託契約は協議会と事業者の間で締結し、事業者は住民アンケートや公共交通利用者へのヒアリング等各種調査を行い、調査結果をもとに日出町の公共交通の現状や課題を分析し、これからの公共交通施策の指標として「日出町生活交通ネットワーク計画」を策定する予定であります。

次に、第2次行財政改革プランについてであります。第1次行財政改革プランが平成21年度で終了しましたので、引き続き平成22年度から平成24年度までの3カ年の第2次行財政改革プランを策定し取り組んでおりますが、平成22年度の取り組み状況の評価を内部組織である専門部会、幹事会で協議し、本部会議で決定しました。

その結果につきまして、8月26日に開催しました行財政改革推進委員会に報告させていただきました。今後も、プランに基づき行財政改革に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、豊岡小学校本館改築工事についてであります。株式会社さとうベネック、株式会社（ヒデデンキ）と工事請負契約を締結し、昨年12月21日に起工式を行い第1期工事を進めてまいりましたが、ほぼ完成し9月末には引き渡しを受ける予定であります。第1期工事部分は、一部4階建て、延べ床面積1,773平方メートルとなっております。

今後であります、10月から12月中旬までに既存校舎の解体を行い、来年の夏の完成をめぐりに第2期工事に着手する予定であります。

以上、甚だ簡単であります、行政報告とさせていただきます。

議長（城 美津夫君） 行政報告が終わりました。

地方自治法121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告します。

日程第5・委員長報告

議長（城 美津夫君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成23年第2回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査の結果について報告を求めます。総務常任委員会委員長 佐野故雄君。10番佐野故雄君。

総務常任委員長（佐野 故雄君） 閉会中の総務常任委員会の所管事務調査について御報告いたします。

去る8月19日委員全員出席のもと、町長ほか所管課長に出席を求め、日出町総合計画後期計画の報告並びに所管各課の事務調査を開催いたしました。

はじめに、所管各課より報告を受けました。

総務課からは、大規模災害時避難所整備事業についての説明がありました。また、委員から、

今回の行政視察研修会の高浜市での窓口サービスにおいての机の配置が市民に対して好評であることから、委員より、本庁窓口においても改善できないか要望したところであります。

財政課からは、住民基本台帳を基本としたソフト、トップス21E共同利用についての説明がありました。このことにつきましては、安心・安全であるテーマなのか、財政が逼迫しているので移行したのか、システムの説明がわかりにくいので再度具体的な説明をいただくよう求めたところであります。

税務課からは、9月に向けた条例改正について説明を受けました。

次に、日出町総合計画後期計画について政策推進課より報告を受けました。平成18年7月に、人と自然が調和したふれあいと活力ある町を目指した第4次日出町総合計画が策定され、平成22年度に前期5年を終え、進捗状況や社会情勢の変化などを踏まえ、改めて平成23年度から27年度までの5年間を後期計画期間と定め策定したとのことであります。

全体として、前期計画200項目から2減9増で207項目となり、削除したものとして大分国体の取り組み、都市型災害の防止であります。また、新たに追加されたものとして、高齢者の日常生活の支援、障がい者の家庭生活への支援、日出町浄化センターの増改築、下水道事業の効率的な維持管理によるコスト縮減と安全経営に向けた取り組み、特定家畜伝染病の対策強化、有害鳥獣対策、大学との連携、町並みの環境設備事業の計画推進の9項目となり、詳細にわたり取りまとめの報告を受けたところであります。

委員から、財源はどのくらいかかるのか、また学校教育関係、給食センターの問題は早く進めていかなければならないのではという意見が出ました。財政課の予算編成とリンクしていかなくてはならないことや、長期財政計画もやりながら具現化に向けて具体的に実行すべく教育委員会とも協議しながら遂行していきたいとの回答がありました。

政策推進課からは、そのほかにふるさと親善大使委嘱、生活交通確保維持協議会、第2次行財政改革プランの各項目について報告を受けたところであります。

また、当委員会は7月13日から15日まで行財政改革について東海方面へ研修視察を行いましたので、概要を御報告いたします。

愛知県豊橋市では、事務事業評価、政策施策評価について研修いたしました。事務事業評価では、妥当性、有効性、効率性の視点から、事業の目的や内容を点検し、目標指数や単位コストなどの分節により事業の成果等を評価し、市民サービスの向上、業務の効率化を進めていく評価を行っており、また政策施策評価では、後期基本計画の改正にあわせて見直した124施策について、基本計画に掲げた政策指標や施策指標の進捗状況など把握する中で、施策の達成度や政策への貢献度などの評価を行っています。

行政評価を導入して10年を迎え、市民の視点に立った目的、成果志向型の行政執行、職員の

意識改革、行政形成能力の向上、わかりやすく透明性の高い行政運営の実現を目標において行動していることは大いに参考になりました。

2日目に、愛知県高浜市総合サービス株式会社へ研修を行いました。主な受託事業として、公共施設維持管理事業、医療事務サービス事業、給食サービス事業、用務員サービス事業、市役所窓口業務、公用車運転サービス事業、清掃サービス事業などを行っていました。特筆すべき点は、福祉に関連するサービスは一切行っていないことと、市のOBを一切採用していないことです。

今回の視察研修先の両市は、自立のための地域経営を真剣に行っており、自立するための計画と方策と行動がきちっとかみ合っていることに学ぶべき点が非常に多かったと思います。

詳細につきましては、お手元の研修視察報告をごらんください。

以上、甚だ簡単でございますが閉会中の総務常任委員会の報告といたします。

議長（城 美津夫君） 次に、産業建設常任委員会委員長 安部三郎君。4番、安部三郎君。産業建設常任委員長（安部 三郎君） 産業建設常任委員会の御報告をいたします。

産業建設常任委員会は、閉会中の8月2日委員全員出席のもと、執行部より町長をはじめ所管の関係する課長の出席を求め、日出町浄化センター視察と所管各課の事務調査を行いました。

まず、商工観光課から。二の丸館の来館者が5万人達成したこと。日出町シルバー人材センターの事業実績状況について、平成23年度ふるさと雇用再生特別交付金並びに緊急雇用創出事業臨時特別交付金の申請額に対する内示について報告がありました。

また、平成23年度団体旅行誘致緊急対策についての概要について説明を受けました。これは、九州新幹線対策の一貫であり、町内観光産業の推進と観光客の増加を図るために旅行エージェント等が取り扱う貸切バスを用いた旅行、商品の造成に県とともに支援を行うものであります。

委員からは、観光客の増加を図る趣旨はわかるが二の丸館に来庁した旅行会社に対してのキャッシュバックなどもよいのではないかと意見も出ました。

次に、農林水産課では、畜産共励会についての報告がありました。今年度より、会場は豊岡旧家畜市場より豊後北部家畜市場に変更になり、出品のための移動距離も長くなったために1頭当たり手当として6千円から8千円に、並びに振興補助金も若干の増額をしたとのことでありました。

また、委員より、新採用職員には農業・漁業に対して県と同じように、現地へ行っての研修に経験を積ませることが必要ではないかと意見が出ました。

次に、都市建設課関係では、おおいた安心住まい改修支援事業について説明を受けました。これは、高齢者の暮らしの安全確保や子育て世代の住環境の向上を図るため、また地域の中小建設事業者の受注機会の拡大を目的として県と町が合同で町内の高齢者世帯、子育て世代が行う持家住宅の改修等に補助するものであります。今後、広報誌を通じて広く町民に広報できるよう実施

し、計画戸数が少ない部分については予算の中で皆さんの要望を準用したいとのことであります。

また、暘谷駅都市再生整備事業につきまして、今年委託計画が上がっていました駅舎、自由通路、駅前広場については7月29日に業者が決定し、現在事業計画について具体的に打ち合わせをしながら今後JRと協議していきたいとのことであります。

次に、農業委員会では、農業委員の任期満了による改選が行われ、7月21日に臨時議会を開催し会長副会長が決定したと報告を受けました。

最後に、上下水道課からは、公共下水道事業についての概要、整備状況の説明並びに日出町浄化センターの現地視察を行いました。特に、公共下水道処理施設については、供用開始区域内の人口増加により処理水量も年々増加してきており、施設の能力を増強して安定的な水質の確保を目指しており、さらに供用開始からの年数が経過しており、長寿命化計画の策定により順次悪いところは変えていく予定を立てていることと、既に耐震診断を実施し必要ならば耐震工事を行いたいとのことであります。

以上、甚だ簡単でございますが閉会中の産業建設常任委員会の報告といたします。

議長（城 美津夫君） 次に、社会厚生常任委員会委員長 白水昭義君。9番、白水昭義君。

社会厚生常任委員長（白水 昭義君） 社会厚生常任委員会の閉会中の審査につきまして御報告申し上げます。

当委員会は、閉会中に2回の委員会を開催いたしました。まず1回目は、去る7月13日に教育委員会部局を対象に南端小学校を除く5校の小学校の巡視を行いました。各学年、学級の授業参観と意見交換会をいたしたところであります。意見交換会では、主に学校サイドの意見、要望を聞き、現説を受けたところであります。

要望事項としては、豊岡小学校が1件、藤原小学校が3件、川崎小学校が9件、大神小学校が1件、計14件の要望が出されました。いずれも施設の不具合箇所が多く、子供たちの安全にかかわる事象ゆえに早急に修理改善するよう意見をした次第でございます。

なお、豊岡小学校改築工事、川崎小学校の耐震化工事につきましては、当初の計画どおり9月末完成予定のこととあります。いずれの工事も、授業と併進しての工事となりますので、安全には万全を期して施工するよう要望したところとあります。

2回目の委員会は、去る8月23日、関係各課の所管事務調査を行いました。

まず、生活環境課は、まず1点目に南端、今畑集落の飲用水供給設備について、2点目が交通指導員の委嘱について、3点目が平道墓地別府湾ロイヤル霊園擁壁の崩壊、4点目が日出港での土砂等荷揚げにかかわる小規模たい積特定事業についての4点の報告を受けたところとあります。

委員から、特に平道の墓地について、擁壁が崩壊してから1年以上経過しているにもかかわらず放置されているということは、今後許可の取り消しはできないのかというような意見が出され

ましたが、法的にどうなのか調査し対応するとの答弁がありました。

また、日出港に荷揚げされている土砂の出所を調査し、放射能測定をする必要があるのではないかという意見が出され、担当者からは、土砂の出所については県のほうに問い合わせ調査し、放射能測定については随時測定し報告するとの答弁がございました。

また、その他の項で、現在豊岡、一の坂にある株式会社ホープ再油工場の周辺に、新たに廃石膏ボードリサイクル工場の建設が予定されているとの報告がありましたが、この地域は日出町の飲用水の水源保護区域内にあるため到底容認するわけにはいかず、早急に条例を制定してでも阻止すべきであるとの意見を付した次第であります。

次に、福祉対策課では、まず1点目に放課後児童クラブについて、2点目に子宮頸がん予防接種について、3点目に補正予算の概要、4点目に県下市町村の障がい者及び高齢者のタクシー、バスの補助制度についての説明を受けたところであります。高齢者のタクシー、バスの補助制度について、今後日出町はどのような取り組みを行っていくのかと。その意見に対して執行部からは、業者の了解が得られれば無料化に向け鋭意努力する旨の答弁がございました。

健康増進課からは、まず1点目に22年度の後期高齢者医療特別会計の赤字についての説明、それから、2点目に配食サービスの事業委託入札結果についての報告がございました。

配食サービスについては入札業者が1社しかなく、現在委託している日出サポートセンター2002が落札し、使用料については今年度は減免し、24年度以降は前年度の収支によって判断するとのことでありました。

また、日出町の健康保険は他市町村に比較しても高いのではないかという意見が委員から出されまして、特に日出町には医科が24、歯科が11、計35の医療供給体制になっており、医療機関が多いのも一つの要因ではないかと。また、医療費も毎年2億円近く増加している現状をかんがみて、今後着実に減少するような何らかの方策を講ずる必要があるのではないかとの意見を付した次第であります。

教育総務課につきましては、7月13日に出されました要望事項に対する対策の進捗状況の説明を受けました。要望事項14件中10件は8月末まで完成で、残りの4件についても9月末までには完成予定との報告を得たところであります。今回の要望に対し、早急なる対応をしていただいた関係者の努力を評価するものであります。

なお、今度の要望事項は子供たちの安全にかかわる事象、また早急に対応すべき必要性のあるものが多く感じられました。よって、来年度からは修理、補修費を予備費として当初予算に計上し、早急に対応できる体制づくりが必要ではないかという意見が出され、担当者からは、来年度からは当初予算に予備費として計上してみたいとの答弁がございました。

学校教育課からは、小中学校の教職員の定数と書画カメラの購入についての報告を受けたとこ

るであります。

生涯学習課からは、1点目にアーチェリー場の壁面新設工事、2点目に安養寺ふれあい広場の芝生化工事について、3点目に第64回県民体育大会について、4点目に的山荘資料館保存スケジュールについての説明を受けました。

委員から、的山荘の県、国への文化財指定申請が遅いのではないかという指摘がありまして、担当者からはできるだけ前倒しの方向で取り組んでいく旨の答弁がありました。

萬里図書館については、8月2日より学習室の開放と使用要綱についての説明、また学校給食共用調理場については、昨年、東部保健所からの衛生指導として指摘された対策の結果の報告をそれぞれ受けたところであります。

以上、簡単ではございますが閉会中の社会厚生常任委員会の報告といたします。

議長（城 美津夫君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。6番、森昭人君。議会報編集特別委員長（森 昭人君） 議会報編集特別委員会の御報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、閉会中の7月12日、20日の2回にわたり委員会を開催いたしまして議会だより第85号の編集を行い、7月27日に全戸配付いたしましたところであります。

以上で議会報編集特別委員会の報告終わります。

議長（城 美津夫君） 次に、議会改革調査特別委員会委員長 笠置久夫君。15番、笠置久夫君。

議会改革調査特別委員長（笠置 久夫君） 議会改革特別委員会の御報告を申し上げます。

議会改革特別委員会は、閉会中の8月18日委員会を開会いたしました。その内容を御報告いたします。

今回の委員会では、主に議員定数について協議を行いました。行財政改革として、経費削減を進める立場から定数削減を求める声がございます。一方では、地方分権の進展により行政に対する議会の監視能力の強化も求められておりますことは、皆様御承知のとおりでございます。

議員定数の問題は避けて通れない問題でございます。当委員会としては、総合的に勘案、協議した結果、2名程度の定数削減が妥当ではないかという結論に至りました。今後、議員各位は、それぞれの議会改革特別委員会の委員が各常任委員会において意見をとりまとめ、改めて当委員会で集約した上、全員参加の席上にて御提案しようと考えておりますので、御協力をお願いをいたしたいと思います。

次に、委員会会議録の公開について協議を行いました。これは開かれた議会を目指すという観点ではありますが、要点筆記でありますので現在の会議録について公開との結論であります。

その他多くの項目について調査検討を加えておりますが、すべてに結論が出ているわけではございません。結論が出た項目から順次御報告をいたしたいと考えておりますので、御了解のほど

をよろしく願いをいたします。

以上、簡単でありますが議会改革特別委員会の報告といたします。

議長（城 美津夫君） 以上で委員長報告を終わります。

質疑・討論・採決

これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） なければこれで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） なければこれで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会、特別委員会における審査及び調査の結果は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第 6 . 議案第 4 9 号

日程第 7 . 議案第 5 0 号

日程第 8 . 議案第 5 1 号

日程第 9 . 議案第 5 2 号

日程第 1 0 . 議案第 5 3 号

日程第 1 1 . 議案第 5 4 号

日程第 1 2 . 議案第 5 5 号

日程第 1 3 . 議案第 5 6 号

日程第 1 4 . 議案第 5 7 号

日程第 1 5 . 議案第 5 8 号

日程第 1 6 . 議案第 5 9 号

日程第 1 7 . 認定第 1 号

日程第 1 8 . 認定第 2 号

日程第 1 9 . 報告第 3 号

日程第 2 0 . 報告第 4 号

提案理由の説明

議長（城 美津夫君） 日程第 6、議案第 4 9 号平成 2 3 年度日出町一般会計補正予算（第 3 号）についてから、日程第 2 0、報告第 4 号地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定についてまでの議案 1 1 件、認定 2 件、報告 2 件を一括して上程し、議題とします。

提案理由の説明を求めます。町長、工藤義見君。町長。

町長（工藤 義見君） それでは、提案理由の御説明を申し上げます。

今期定例会に御提案申し上げ、御審議いただきます議案 1 1 件、認定 2 件、報告 2 件につきまして、順次その概要を御説明申し上げます。

議案第 4 9 号平成 2 3 年度日出町一般会計補正予算（第 3 号）についてであります。

補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ 2 億 2 7 9 万 6 千円を追加し、補正後の予算総額を 9 2 億 3, 0 7 9 万 1 千円とするものであります。

それでは、今回措置しました歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

まず、東日本大震災の関連の予算としまして、町内の団体、個人より献金をしていただきまして収入し、そして今回その分 2 2 5 万円を宮城県亘理町へ寄附金として追加計上し、また岩手県宮古市に派遣しました職員の人件費不足分を計上しております。町内の防災対策としましては、大規模災害時に避難所となる町内各小中学校に備蓄用倉庫を設置し、備蓄物資を常備する経費を新規に予算計上しております。

そのほかの歳出では、まず総務費で税の申告を自宅のパソコンからも行えるようにする地方税電子申告システム導入費、住民記録や税情報など庁内関係行政システムを県下 8 市町村で共同利用する基幹系システム共同利用導入委託費、また財産管理費におきまして、庁舎内の照明を LED 蛍光灯に移行するための経費等を計上しております。

民生費では、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦が地域で安心して暮らせるまちづくりのため、緊急連絡先やかかりつけ医などの本人情報がわかる緊急時医療情報キットの整備費と、民生委員活動の補助費を新規に計上しております。

子育て支援対策では、県の安心こども基金を活用した地域子育て創生支援事業におきまして、中央公民館中庭を芝生化し子育て空間として整備するための工事費、本庁舎 1 階に授乳ブースを設置するための経費を追加計上しております。また、新規事業であります子育てハッピースタート推進事業により、保育所等で子育て体験講座やプレママ、プレパパスクールを開設する経費を計上しており、核家族化により進行しております子育てに対する不安や育児不安の軽減を図ります。

衛生費では、南端、今畑地区水道組合に対し安全安心な水を供給するため、日出町飲料水供給

事業補助費を計上しております。

農林水産費では、平成22年度まで2カ年の事業として実施しましたJA日出町販路拡大推進事業を今年度以降も継続して実施することとし、良質な日出産米の供給と販路拡大を図ります。

また、林業振興費におきまして、公共造林事業委託費を新規に計上しており、藤原、百合野地区の山林の下刈りを実施します。

商工費では、観光費におきまして貸切バスによる団体旅行誘致事業補助費、また赤松橋を観光資源として整備するため駐車場の舗装工事費を新規に計上しております。

土木費では、藤ヶ谷清掃センター更新に伴う周辺環境整備事業として、町道影平線、萱場線の道路改良事業費を新規に計上しております。また、そのほかの道路改良事業では新規に着手する路線として太良庚申線、中屋敷早水線、赤山仁王線の3路線につきまして公有財産購入費等の予算措置をしており、大神瀬ノ上線、則次辻の尾線、鍛冶屋線の各道路改良事業につきましては、整備促進のため工事請負費等を追加計上しております。

住宅管理費では、高齢者や子供がいる世帯の簡易な耐震改修、バリアフリー改修といった住宅改修に対する補助費を、おおいた安心住まい改修支援事業として新規に計上しております。

また、土木総務費で、今年度新設しました契約検査室の業務効率化のため契約管理システム導入委託費を計上し、河川改良費におきまして、豊岡西区の琴釣川周辺整備事業費を計上しております。

消防費では、豊岡新町地区と大神日比ノ浦地区の防火水槽設置費、小型消防ポンプ購入費、防火水槽の蓋かけに要する修繕費を計上しております。

教育費では、学校管理費におきまして児童生徒の学習環境の整備のため、各小中学校の修繕費、充実備品購入費等を増額補正しております。また、教育用パソコン導入事業で書画カメラ購入費を計上しており、各小中学校に配備されております電子黒板の利活用を図ります。

そのほかの教育費では、体育施設管理費におきましてアーチェリー場の壁面設置、黒岩グラウンドの倉庫設置の工事請負費を。また、社会教育総務費で成行自治公民館の新築補助費を計上しております。

災害復旧費では、6月の大雨により陥没しました須崎新田線ののり面復旧工事費を計上しております。

今回の補正予算の財源としましては、前年度繰越金、臨時財政対策債の増額分、事業実施に伴う国県支出金、事業費変更による町債の補正等で措置し、財政調整基金繰入金により財源調整しております。

また、予算第2条におきまして地方債の補正をお願いしております。

次に、議案第50号平成23年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてで

あります。

補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ706万2千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を29億6,292万9千円とするものであります。

補正をしました内容は、歳出で後期高齢者支援金、前期高齢者納付金の不足額と平成22年度の精算に伴う療養給付費負担金、出産育児一時金補助金の保証金を増額補正し、介護納付金を決定額に基づき現額補正しております。

歳入につきましては、平成22年度決算に基づく繰入金で措置し、国保財政調整基金繰入金の現額により財源調整しております。

次に、議案第51号平成23年度日出町簡易水道特別会計補正予算（第1号）についてであります。

補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ42万5千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を1,098万4千円とするものであります。

補正をしました内容は、歳出で職員人件費の不足額を計上し、歳入で平成22年度決算に基づく繰越金を計上した上、一般会計からの繰入金により財源調整しております。

次に、議案第52号平成23年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）についてであります。

補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ2,502万円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を8億5,646万9千円とするものであります。

補正をしました主な内容は、歳出では水質保全下水道事業におきまして、平成24年、25年度実施予定でありました浄化センター処理場耐震診断を本年度に前倒しで実施することとし、測量設計委託費を増額補正しております。

また、浄化センター管理費、洲崎ポンプ場管理費、公共下水道事業費で公共柵設置、污水管修理等の修繕費を増額補正しており、一般管理費では職員人件費の不足分等を追加計上しております。

歳入につきましては、水質保全下水道事業にかかる国庫補助金の増額分を計上した上、一般会計からの繰入金により財源調整しております。

次に、議案第53号平成23年度日出町漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）についてであります。

補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ216万9千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を3,977万9千円とするものであります。

補正をしました内容は、歳出の浄化センター管理費におきまして、有機汚濁物質測定計器の修繕費、消火器購入費を計上し、歳入につきましては一般会計からの繰入金により財源調整してお

ります。

次に、議案第54号平成23年度日出町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）についてであります。

補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ187万4千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を4,280万9千円とするものであります。

補正をいたしました内容は、歳出の浄化センター管理費におきましてマンホールポンプ修理費等の修繕費、消火器購入費を計上し、歳入につきましては一般会計からの繰入金により財源調整しております。

次に、議案第55号平成23年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてであります。

補正をいたしました額は、保険事業勘定の規定の予算の総額に歳入歳出それぞれ2,780万2千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を22億365万8千円とし、介護サービス事業勘定の既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ47万3千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を2,155万5千円とするものであります。

保険事業勘定で補正をいたしました内容は、歳出におきまして平成22年度精算に伴う国県支払基金への過年度償還金を計上し、歳入では平成22年度決算に基づく繰越金、過年度分介護給付費県負担金を計上した上、予備費により財源調整しております。

介護サービス事業勘定で補正をいたしました内容は、歳出におきまして平成24年度介護保険法改正に伴う介護予防システムのソフトウェア購入費を計上し、歳入につきましては一般会計からの繰入金で財源調整しております。

次に、議案第56号平成23年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）についてであります。

補正後の予算の総額は変更はございません。補正をいたしました内容は、予算第3条の収益的支出におきまして草刈り及び剪定作業委託費と非常勤職員の人件費を増額補正し、予備費の減額により財源調整したものであります。

次に、議案第57号日出町税条例の一部改正についてであります。

地方税法の一部改正に伴い改正するものであります。主に寄附金税額控除の適用下限額の引き下げと、罰則規定の見直しに伴い所要の改正を行うものであります。

次に、議案第58号職員の特務手当支給条例の一部改正についてであります。

特務手当の支給対象となる感染症の見直しと、用語の整理を行うため改正するものであります。

次に、議案第59号物品の購入についてであります。

日出町立大神中学校の教育用コンピューターを平成14年度に購入し、情報教育の充実を図っ

てまいりましたが、今回機器の更新を行いたいので、町有財産条例第2条の規定により議会の議決をお願いするものであります。

認定第1号平成22年度日出町一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計、簡易特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計、歳入歳出の決算の認定についてであります。

一般会計につきましては、歳入決算額89億1,700万4,862円、歳出決算額87億30万9,788円となり、平成21年度決算額と比較いたしますと、歳入総額は1.6%、歳出総額は2.1%の減少となりました。

決算規模が減少いたしましたのは、前年度決算におきまして国の施策で実施した定額給付金事業費4億3,822万8千円が含まれていたことが主な要因であります。

歳入につきましては、町税の決算額が前年度に比べ4.4%の減少となりました。法人町民税が前年対比で4.6%増加し、企業収益回復の兆しが伺えますが、主要税目であります個人町民税が8.6%、固定資産税が4.6%といずれも減少しており、町税全体の決算額は2年連続で減少し、平成15年度以降の低水準になっております。

町税とともに、歳入の大きな柱であります地方交付税につきましては、前年度に比べ10.7%の増加となりました。普通交付税の算定におきまして、基準財政収入額が減少したことが主な要因となっております。

歳入全体で見ますと、町税の減収分を地方交付税の増加で補った形となっておりますが、この結果として自主財源比率は2.3ポイント低下しております。歳出につきましては、投資的経費が決算額8億7,108万1千円、前年度に比べ21.7%の減額となっております。

平成22年度は、豊岡小学校校舎増改築事業及び耐震補強事業、豊岡・川崎保育園の整備補助費事業、またまちづくり交付金事業として日出城裏門櫓、隅櫓の復元工事、町道場谷駅北口線の歩道整備事業等を実施しております。また、防災対策として防災無線整備事業に取り組んでおります。

義務的経費につきましては、前年度に比べ9.9%の増加となり、決算額全体に占める構成比も5.7ポイント増加しております。義務的経費の内訳では、人件費が0.6%の減少となり、うち職員給につきましては0.3%の微増となっております。

扶助費につきましては、こども手当の支給が開始されたことにより26%の大幅な増加となり、義務的経費増加の大きな要因となっております。

また、公債費につきましては7.6%の増加となっておりますが、これは臨時財政対策債の償還金が増加したためであります。

その他の経費では、物件費につきまして4.3%、補助費等についても24.4%と、前年度に比べそれぞれ減少しております。

また、積立金につきましては、前年度対比44.2%増の2億8,383万円で、財政調整基金、減債基金、平成22年度に新設しました公共施設整備基金にそれぞれ積立を行っており、後年度の財政負担に対処いたします。

決算収支につきましては、形式収支、実質収支、単年度収支、実質単年度収支、いずれも黒字を計上することができました。財政指標につきましては、財政の弾力性を示す数値であります経常収支比率が87.1%となり、前年度に比べ2.6ポイント改善し、財政力に対する公債費の負担割合を示す実質公債比率についても10.8%と、1.2ポイント改善しております。

このように、平成22年度決算につきましては、収支の状況、財政指標ともにおおむね良好に終了することができました。現在の地方財政におきましては、地方交付税などの原資による国税収入が減少する一方で、少子高齢化に伴う社会保障関連費が増加するといった構造的に見ても極めて厳しい環境に置かれております。また、景気や雇用情勢の悪化といった外部環境の変化に的確に対応した行財政構造の改革が必要となっております。

財政運営に当たりましては、政局が不安定な状況の中で、より一層重要性が増しております自主財源比率の向上に向けて、町税収入の確保、受益者負担の適正化など、財源確保に努めてまいります。また、政策の見直し、選択、集中を行い、限られた財源を重点的配分と経費支出の効率化に努めてまいりたいと考えております。

議会の皆様には、今後ともなお一層の御指導御協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、各特別会計の決算につきまして御説明申し上げます。

まず、国民健康保険特別会計であります。歳入決算額29億3,846万8,064円、歳出決算額29億2,542万5,372円で、実質収支は1,304万2,692円となっております。

歳入におきましては、国民健康保険税収入額が前年度に比べ579万2千円の減少、現年度分の収納率については、前年度から0.9%上昇し89.5%となっております。一般会計からの繰入金は、前年度に比べ8.7%増の1億5,510万1千円、また国保財政調整基金からの繰入を4千万円行っており、保険給付費増加による財源不足を補てんしております。

歳出につきましては、保険給付費が10%と大幅に増加し、21億2,289万5千円となっております。そのほかの歳出では、後期高齢者支援金が8.6%の減少、介護給付金が8.4%、共同事業拠出金が10.9%のそれぞれ増加となっております。また、平成20年度より開始された特定健康診査事業につきましては受診率44.9%、特定保健指導実施率62.4%となっております。

医療費の高騰は、国保財政のみでなく町財政の悪化にもつながり、その抑制が喫緊の課題であります。医療費増加の主な原因であります生活習慣病患者の重症化抑制のため、特定健診保健指導事業や個別の健康保健指導を柱とした積極的な保健事業の展開で医療費の適正化に努めてまいります。

次に、簡易水道特別会計であります。歳入決算額902万7,347円、歳出決算額897万2,935円、実質収支5万4,412円となっております。

歳入につきましては、使用料収入が前年度に比べ2.3%の増となり、一般会計からの繰入は行っておりません。

歳出の主な内容につきましては、豊岡簡易水道及び南端簡易水道の維持管理経費のほか、南端簡易水道事業におきまして、目刈地区配水管敷設取りかえ工事を実施しております。

次に、公共下水道事業特別会計であります。決算額は、歳入歳出ともに8億514万4,563円となっております。

主な歳入では、受益者負担金が前年度に比べ31.2%の増、使用料収入が4.9%の増、また公共下水道事業債が借換債の減少により19.2%の減となっており、一般会計からの繰入金につきましては、2億1,420万7千円で14.1%の増となっております。

歳出の主な内容につきましては、浄化センター及び洲崎ポンプ場の維持管理費、管渠等の付設整備費、町債の元利償還金などであります。

平成22年度の事業として、内野地区、国道10号線等の污水管付設工事を実施した結果、供用面積は2.4ヘクタール増加して448ヘクタールとなりました。平成22年度末現在、処理人口は1万4,601人、普及率51%、水洗化率は1万1,468人、水洗化率78.5%となっております。

次に、老人保健特別会計であります。決算額は歳入歳出ともに50万2,543円となっております。

医療制度改革により、老人保健制度から後期高齢者医療制度へと移行したため、決算額は大きく減少しております。平成22年度決算につきましては、歳入におきまして過年度分の支払基金交付金、国県負担金等を計上し、歳出におきまして一般会計への繰出金により精算処理いたしております。

次に、漁業集落排水事業特別会計であります。決算額は歳入歳出ともに3,460万8,202円となっております。

歳出の内容としましては、浄化センターの運転管理等の維持経費、町債の元利償還金等であります。平成22年度末の処理人口は893人、水洗化人口784人、水洗化率は87.8%となっております。

次に、農業集落排水事業特別会計であります。決算額は歳入歳出ともに3,713万2,098円となっております。

歳出の内容につきましては、浄化センターの運転管理等の維持経費、町債の元利償還金等であります。平成22年度末の処理人口は933人、水洗化人口は747人、水洗化率は80.1%となっております。

次に、介護保険特別会計保険事業勘定であります。歳入決算額2億7,082万6,564円、歳出決算額2億4,651万7,845円で、実質収支では2,430万8,719円となっております。

歳出のうち、保険給付費は現年度と比較して2.1%増の20億6,805万7千円となっております。保険給付費の主な内訳では、居宅介護サービス給付費が6.4%の増、施設介護サービス給付費が2.4%の減、介護予防サービス給付費が11.1%の増などとなっております。

歳入につきましては、介護保険医療収入が前年度と比較して1.2%の増、国県支払基金からの負担金交付金は1.9%の増、一般会計からの繰入金については2.2%増の2億8,820万4千円となっております。また、保険料の不足を補てんするため介護保険運営基金から繰入金を3,800万円行っております。

介護保険給付費の増加は、医療費の高騰とともに町財政を圧迫する要因となっており、その適正化に努めることは今後の大きな命題であります。

次に、介護保険特別会計サービス事業勘定であります。この会計につきましては、地域包括支援センターの包括的支援事業や介護予防支援事業を保険事業勘定と区分したものであります。決算額は歳入歳出ともに1,603万4,329円となっております。

歳出の内容につきましては、介護予防専門員報酬、介護予防サービス計画作成委託費などあります。

歳入につきましては、介護予防給付費収入と一般会計からの繰入金となっております。

最後に、後期高齢者医療特別会計であります。決算額は歳入歳出ともに2億4,901万8,815円となっております。

歳出の内容は、後期高齢者医療広域連合への納付金と一般管理費などあります。

また、歳入につきましては、後期高齢者医療保険料と保険基盤安定繰入金等の一般会計繰入金となっております。

以上、平成22年度決算の概要を申し上げますが、地方自治法第233条第3項の規定により監査委員の意見書を付して提出いたしておりますので、御認定いただきますようお願い申し上げます。

次に、認定第2号平成22年度日出町水道事業会計予算の認定及び利益剰余金の処分について

であります。

平成22年度収益的収入総額は4億192万8,565円で、前年度と比較して369万2,147円、0.9%の増となっています。これは、給水収益及び新規加入金の増によるものであります。

収益的支出総額は3億5,029万820円で、前年度と比較して347万3,864円、1.0%の減となっています。これは、企業債の借り換えによる支払利息の減によるものであります。この結果、当年度純利益は前年度比13.2%増の4,679万1,967円を計上しています。

資本的収入及び支出につきましては、収入総額は1億4,025万9,282円、支出総額は3億5,319万3,403円となりました。収支不足額の2億1,293万4,121円につきましては、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額297万4,268円、現年度分損益勘定留保資金1億3,308万3,170円、減債積立金5,277万1,710円及び建設改良積立金2,410万4,973円で補てんしております。

当年度末の未処分利益剰余金6,679万1,967円の処分についてであります。2,679万1,967円を減債積立金に、2,000万円を建設改良積立金に、そして残り2,000万円につきましては翌年度に繰越、今後ともさらなる経営の健全化、安定化に努めてまいりたいと考えております。

次に、報告第3号地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定についてであります。

平成22年度決算に基づきまして、健全化判断比率の算定を行いましたので、その結果を御報告申し上げます。

まず、実質赤字比率、連結実質赤字比率につきましては、黒字決算でありましたので数値はございません。実質公債費比率につきましては10.8%、将来負担比率につきましては62.4%となっております。

この4つの指標につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律によりそれぞれ早期健全化基準が定められており、いずれかの数値が基準以上の場合は財政健全化計画を作成し財政健全化に努めなければなりません。

日出町の場合、早期健全化基準は実質赤字比率14.45%、連結実質赤字比率19.45%、実質公債費比率25.0%、将来負担比率350.0%となっており、いずれの数値におきましても基準以下の算定数値であったことを御報告申し上げます。

次に、報告第4号地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定についてであります。

資金不足比率とは、公営企業の経営健全化の判断指標であり、各公営企業の資金不足額の事業規模に対する比率であります。日出町では、水道事業会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計が対象となります。

公営企業における経営健全化基準は、資金不足比率20%以上と定められておりますが、平成22年度決算におきまして各会計とも資金不足は生じておりませんので、資金不足比率の数値はございません。

以上、健全化判断比率、資金不足比率の御報告を申し上げましたが、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に基づき監査委員の意見を付して提出いたしております。

以上、今期定例会にお願いしました議案11件、認定2件、報告2件につきまして、甚だ簡単であります御説明申し上げました。何とぞ、慎重な御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

議長（城 美津夫君） 提案理由の説明が終わりました。

日程第21．発議第1号

議長（城 美津夫君） 日程第21、決算特別委員会の設置についてを議題といたします。

お諮りします。認定第1号並びに認定第2号の2件につきましては、議長並びに監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託する上審査することにしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、認定第1号並びに認定第2号の2件につきましては、議長並びに監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し審査することに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任については、日出町議会委員会条例第6条第1項の規定により議長並びに監査委員を除く全議員を指名したいと思えます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名いたしました議長並びに監査委員を除く全議員を決算特別委員会委員に選任することに決定しました。

これより決算特別委員会委員長及び副委員長の選任を行います。委員長及び副委員長の選任の方法は、日出町議会委員会条例第7条第2項の規定により決算特別委員会において互選することになっておりますので、委員長及び副委員長の互選をお願いいたします。

委員長及び副委員長の互選が終わるまでここでしばらく休憩をしたいと思います。これに御異

議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩をしたいと思います。会議室のほうへ集まりください。

午前11時35分休憩

.....
午前11時42分再開

議長（城 美津夫君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

決算特別委員会において正副委員長の互選が行われ、その結果の報告が議長の手元に参りましたので御報告いたします。決算特別委員会委員長に笠置久夫君、副委員長に森昭人君が互選されました旨の報告がありました。

以上で決算特別委員会の設置及び委員の選任を終わります。

散会の宣告

議長（城 美津夫君） 以上で本日の日程は全部終了しました。本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（城 美津夫君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで散会することに決定しました。

なお、会期日程に従い、一般質問は3日の土曜日並びに4日の日曜日に行いますので、各位にかれましてはよろしく御協力のほどお願いいたします。

本日はこれで散会します。御苦労さまでした。

午前11時44分散会